

農福連携推進セミナー

～実践者から学ぶ農福連携の創出・成長と発展～

2024年 **1/23 (火)** 13:00-15:30

参加費
無料

本セミナーでは、農福連携の成長・発展期の事例と、農福連携の創出期の事例の2つを取り上げ、農福連携に興味がある方、農福連携を支援している方を対象に、課題解決のポイントを学んでいただきます。



定員

会場30名／オンライン20名程度 (先着順)

会場

INTILAQ東北イノベーションセンター 1階クラスルーム
(仙台市若林区卸町2-9-1)

対象者

農福連携に興味のある方、農福連携を支援している方
(農業者、福祉関係事業者、行政機関・支援団体等)

- ①農福連携に興味はあるが、具体的にどうしたらいいかわからない方
- ②農福連携がうまくいかない、課題を抱えている方
- ③過去に農福連携をやっていたが、うまくいかずにやめてしまった方
- ④現在行なっている農福連携をさらに発展させたい方

など

事例発表① 株式会社MITU



“畑から元気を届ける”をコンセプトに仙台沿岸と大崎で根菜類を中心とした野菜を栽培している。

ソーシャルファームを目指し、地域の施設と連携。働きたい&働くことを目指している障がいのある方などの支援を行なっている。

農福連携のメンバーは土作りから種まき、草取り、収穫、袋詰までの一連の作業を行っており、将来、農業で働きたい、就職したいという方にもそれに合ったプログラムを提案している。

事例発表② 株式会社布田ファーム



令和4年に宮城県岩沼市に設立された農業法人。主に米やきゅうりを栽培しており、加工部である「Irodori.Kitchen」では、米粉を使ったスイーツやきゅうりのピクルスなどの惣菜を製造・販売している。

今年から農福連携の取組をスタートし、一般就労を目指している「てんかん」をお持ちの方や、「障がい者」の方、「ひきこもり」から社会参画を目指す方とともに、農業を行なっている。

タイムスケジュール

12:30～	開場
13:00～13:05	主催者挨拶（宮城県農業振興課）
13:05～13:45	第1部 事例発表① 「10年間続けてきてわかった、農福連携に大切なこと」 講師：株式会社MITU 代表取締役 佐藤好宣氏
13:45～14:55	質疑応答
14:00～14:30	第2部 事例発表② 「農福連携マッチング事例：農福連携で人手不足を解消し、売上を拡大」 (1)「農福連携前・連携後の取組み内容、及びメリットと課題」 講師：株式会社布田ファーム 布田幸子氏 (2)「福祉事業所側から見る、農福連携のメリットと課題」 講師：NPO法人ハンス・バーガー協会 サポートセンターリーチェ 課長 江田孝氏
14:30～15:00	パネルディスカッション 「農福連携マッチングのポイント、農福連携の課題と解決方法について」 パネリスト：布田幸子氏、江田孝氏 NPO法人みやぎセルフ協働受注センター 事務局次長 格井さえ子氏
15:00～15:30	質疑応答・相談会
15:30～	名刺交換会 ※自由参加

会場案内

INTILAQ東北イノベーションセンター クラスルーム
(住所：仙台市若林区卸町2-9-1)
※仙台市営地下鉄東西線「卸町駅」下車 北1出口より徒歩5分
※お車で越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用願います。



申込方法

申込期限 **2024年1月19日(金) 17:00**
※期日前でも定員になり次第、締め切ります。

お申し込みは、googleフォーム（右記QRコード）
または下記【お申込・お問い合わせ先】までEメールかFAXで下記の事項をご連絡ください。

①お名前（ふりがな）②所属法人・団体等 ③役職 ④電話番号 ⑤E-mail
⑥参加方法（会場・オンライン）

※参加申し込みの際に取得した個人情報とは本事業以外の目的では使用いたしません。



お申込・お問い合わせ先

株式会社プロジェクト地域活性

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-9-1 INTILAQ東北イノベーションセンター

TEL:022-349-4891 FAX:022-349-4892 Eメール:noufuku@prokatu.jp（担当：沼澤、伊藤）

主催：宮城県農政部農業振興課

※この事業は宮城県が株式会社プロジェクト地域活性に委託して実施するものです。

参加申込書

名前	ふりがな
所属法人・団体等 役職	
連絡先 (電話番号・Eメール)	TEL
	Eメール
参加方法	会場・オンライン

